



## 州全体にわたる試験実施上の配慮について

お子様に障害があり、個別教育計画 (Individual Education Plan (IEP)) のサービスを受けている場合、指導および州全体の試験の間に配慮を受ける必要がある場合があります。

### 試験実施上の配慮とは何ですか？

配慮とは、生徒が評価を受けるまたは応答する方法について、評価 (試験) の実施に変更を加えることです。配慮によって、構成 (評価が測定する概念) が変わることはありません。また、結果スコアの意味も変わりません。幅広い配慮には環境、日程、提示、応答が含まれます。

配慮の目的は、有利にすることではなく公平にすることであり、障害を持つ生徒に対等に競い合える場を提供することです。適切に利用すれば、生徒が持つ障害の影響を弱めたり、さらにはなくすこともできます。学習目標を低くしたり結果スコアの意味を変えることはありません。

### 配慮は、障害を持つ子どもにどう役立ちますか？

何を学習したかを示す際に自分の障害が妨げにならない方が、おそらくお子様は試験の間に「できる」と感じるでしょう。これによって、お子様の知識やスキルをより正確に評価できます。

### どの生徒が州全体の試験で配慮を受けるか誰が判断するのですか？

保護者を含む IEP チームが、お子様が試験中に配慮を必要とするかどうか判断します。IEP のミーティングの間に、目標が年間計画の一部として示されます。IEP チームでは、普段の指導の中で必要な場合には、どのような支援や配慮が必要かも話し合う必要があります。お子様が試験で必要とする配慮は、州全体のテストだけでなく、学年を通じて実施されるすべての試験にも該当します。

必要な配慮は、IEP で明確に示す必要があります。配慮の内容や利用方法とタイミングも示す必要があります。たとえば、時間の延長が示されている場合、IEP は、適切な延長時間の長さを示す必要があります。年間を通じて日常の指導に使用されるすべての配慮を、試験時の配慮として検討することが重要です。

配慮は、指導や試験に参加できるようにするのが目的であることを忘れないでください。習熟を保証したり、障害を持つ生徒が他の生徒より有利になるようにすることはありません。試験の内容を変更したり、正解を暗示したり漏らしたりするヒントやアドバイスを生徒に与えることはできません。

### 障害を持つ私の子どもは 504 プランの対象です。試験実施上の配慮を受けることができますか？

はい、リハビリテーション法 (Rehabilitation Act) 第 504 条の下で障害を持つと認定された生徒は、504 プランに含まれる、指導および試験での必要な配慮を受けることができます。これらの配慮は、その内容や利用方法とタイミングなど、プランで明確に指定する必要があります。

### 子どもが受けることができる試験実施上の配慮には制限がありますか？

はい、IEP の対象の生徒は、テストで配慮を与えられますが、州全体のテストで配慮を利用するには厳密なガイドラインがあります。これらの制限は試験ごとに決められます。IEP チームは、その年に実施される州全体のテスト、および各テストに認められる配慮を知っている必要があります。配慮の中には、指導で使用する場合には適切であっても、標準化された評価や州の評価での使用は適切ではない、または認められないものがあることに注意してください。配慮が必要なのは学校だけではありません。通常、配慮を利用する生徒は、家庭やコミュニティでも配慮を必要とします。また、年を重ねれば、高校卒業後の教育や職場でも必要です。ただし、配慮の中には試験ではなく指導に適切なものもあります。



### 試験実施上の配慮には、どのようなものがありますか?

生徒が受ける配慮は、それぞれのニーズによって異なります。配慮が行われるのは、環境、試験の提示、生徒の応答、またはスケジュールの領域です。

#### 環境または場所についての配慮:例:

- 特殊教育教室での試験実施。少人数のグループ。個人用閲覧席。優先座席。
- 特別なまたは適した照明。調節可能な備品(スラントボードなど)

#### 試験提示についての配慮:例:

- 弱視支援(有線テレビ、拡大装置など)。拡大印刷。点字。
- 指示、試験問題、または長文の手話通訳(許可された試験で、または特別な資格がある場合)
- 指示の繰り返し。分かりやすいように指示を説明または言い換え。
- 試験問題または長文の読み上げ(許可された試験で、または特別な資格がある場合)
- 色付きのオーバーレイ、テンプレート、またはプレスマーカー。コントラストが強い資料、および触れると分かる印が付いた資料

#### 生徒の回答についての配慮:例:

- 文法や綴りのチェック機能を無効にした点字タイプライター、ワードプロセッサといった通信機器などのテクノロジー
- 生徒が試験冊子で解答に印を付ける。生徒が解答を指し示す。口頭で答える。
- 改良した筆記用具(鉛筆の握り、直径が大きい鉛筆など)
- 代筆(生徒は、口頭でまたは通信装置を使用して試験項目に解答する)
- 基本機能を備えた計算器または改良した基本的な計算器(特別な資格がある場合)

#### スケジュールについての配慮:例:

- 監督下での頻繁な休憩。試験に最適な時刻。
- 時間の延長(延長時間の長さは IEP で決める必要があります)

生徒は各配慮の利用方法を学ぶことが重要です。評価を行う前に、指導や評価上の配慮を利用できるようになる十分な時間を与えてください。また、生徒による配慮の利用を定期的に検討、評価して、まだ効果的か、改善が必要か、もう必要でないか判断してください。

詳細な情報については以下にご連絡ください。

ペアレントツー ペアレント オブ Georgia (Parent to Parent of Georgia)

770 451-5484 または 800-229-2038

[www.p2pga.org](http://www.p2pga.org)

Georgia州教育省特殊教育サービス支援局 (Georgia Department of Education, Divisions for Special Education Services and Supports)

404 656-3963 または 800-311-3627 に電話し、「特殊教育(Special Education)」に電話を回すよう伝えてください。

[http://www.gadoe.org/ci\\_exceptional.aspx](http://www.gadoe.org/ci_exceptional.aspx)

その他の情報源: 学区の**特殊教育ディレクター(Special Education Director)**にご相談ください。